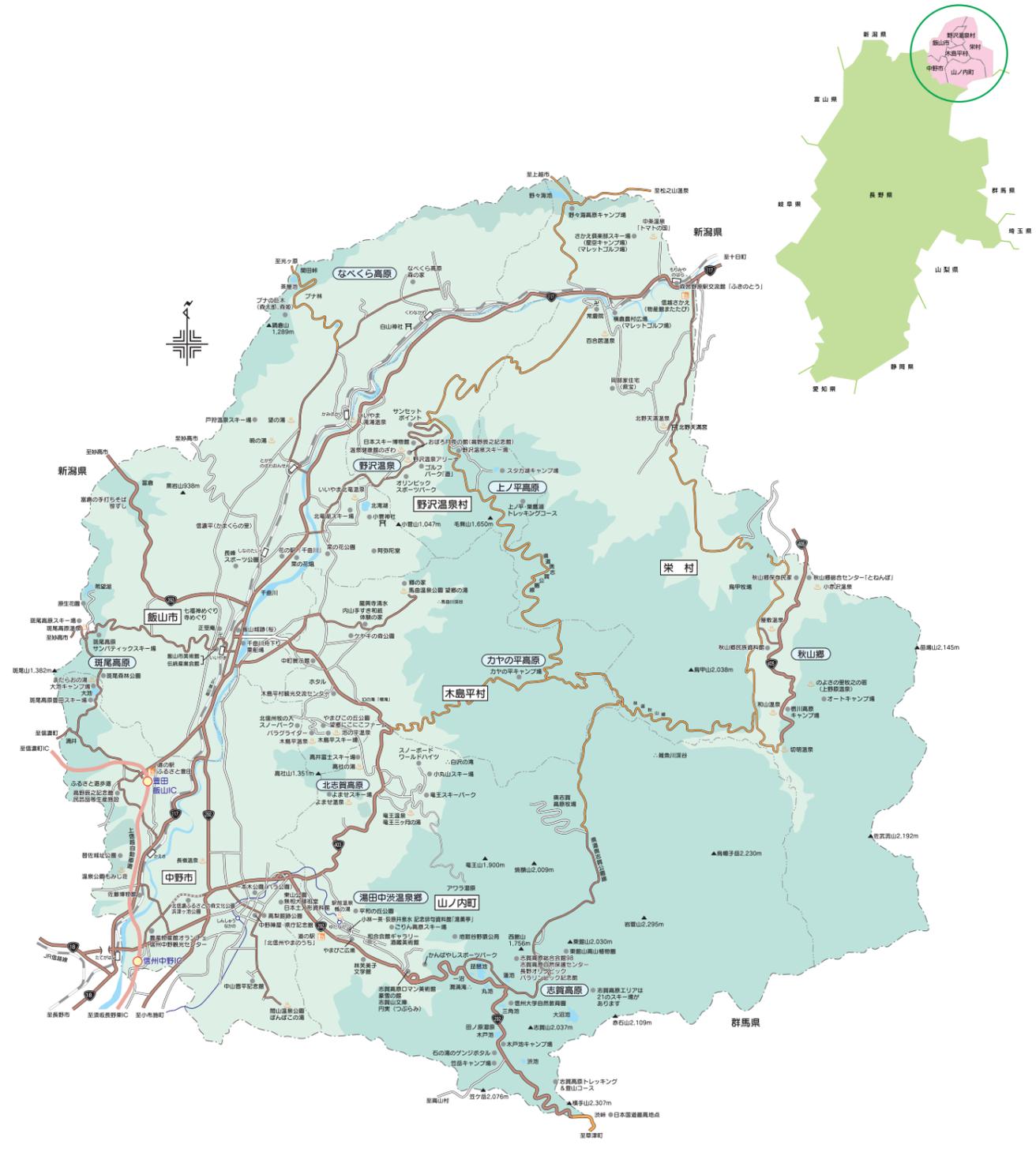


3.北信広域圏エリア

北信広域圏は、中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村の2市1町3村からなる北信広域連合圏です。



グラフィックマニュアル

3

- 1.表現の基準
- 2.表現の基本ルール
- 3.案内サインの表記ルール

1. 表現の基準

<和文表記の基準>

- 1、原則として国文法、現代かなづかいによる表記を行います。ただし、固有名詞についてはこの限りではありません。
- 2、施設・資源の名称は、以下の項目を考慮し適切でわかりやすい表記をおこないます。
 - ・表示面の煩雑化を防ぐため、明確に理解される範囲内で、省略できる部分を省略します。
 - ・正式名称よりも明らかに理解されやすい通称名がある場合にはそれを用います。
 - ・複合的な資源・施設においては、目的に応じて省略できる部分を省略します。
 - ・アルファベットの名称が慣用化している場合は、それを用いることもできます。
 - ・類似の施設が多く混乱を招く可能性がある場合は正式名称を用います。
- 3、数字は原則として算用数字を用います。施設名の固有名詞の数字はこの限りではありません。また～丁目のように地名として用いる場合には漢数字を用います。
- 4、地名、固有名詞など読みにくい漢字がある場合で、英文表記がなされない場合はふりがなを付記するなどの配慮を行います。
- 5、紀年は西暦により表記します。必要に応じ日本年号を付記することもできます。

<英文表記の基準>

- 1、固有名詞、普通名詞ともにローマ字により表記し、機能、種類を明確に表現するために、さらに普通名詞部分を英訳により表現します。ただし、英文が長くなる場合は、必要に応じて普通名詞の英訳部分を省略します。
- 2、ある程度その表現が習慣化されているものについては、固有名詞、ローマ字、普通名詞を英訳により表記します。
- 3、七福神、正受庵などのように対応する英単語がない場合は、ローマ字により表記します。必要があれば説明的な英文をカッコ書きで付記します。
- 4、普通名詞部分が外来語の場合は、できるだけ英訳により表記します。
- 5、英訳名称が定められている施設についてはそれを使用します。
- 6、英訳部分において慣用化されている略語の使用も可です。
- 7、ローマ字の表記はヘボン式を基本とします。
- 8、表記が長い場合、読みにくい場合は、ハイフンで切ることもできます。

<英文表記一覧 この表は表記一例です>

資源・施設名 (和文)	英文表記
北信州	KITA-SHINSHU
中野市	Nakano City
飯山市	Iiyama City
山ノ内町	Yamanouchi Town
木島平村	Kijimadaira Village
野沢温泉村	Nozawaonsen Village
栄村	Sakae Village
斑尾高原	Madarao Heights
カヤの平高原	Kayanotaira Heights
なべくら高原	Nabekura Heights
北志賀高原	Kitashiga Heights
秋山郷	Akiyama Gou
ぽんぽこの湯	Ponpoko-no-yu
道の駅	Michi-no-eki
大池キャンプ場	Oike Campsite
北竜湖	Hokuryu Lake
千曲川	Chikuma River
パラグライダー	Paraglider
トレッキングコース	Trekking Course
馬曲温泉	Maguse Spa
日本スキー博物館	Japan Ski Museum
野沢温泉アリーナ	Nozawa onsen Arena

2.表示の基本ルール

<書体・字詰>

表示板面に使用する書体は下記のものとしします。

●和文 新ゴB

<字詰めの基準>

- ・正体を基本としますが、表示面の天地左右の有効範囲内において文字数に合わせた広域マニュアルの長体（平体）のルールも参考に、書体を調整していきます。
- ・カナ・漢字混合の名称など組み合わされる文字によっては、字間の修正を行い、バランスのとれた字組とします。

●英文 ヘルベチカボールド

<字詰めの基準>

- ・正体を基本とし、表示面の天地左右の有効範囲内において文字詰めを行い、組合わされる文字によっては、字間の修正を行い、バランスのとれた字組とします。

【横書】

斑尾高原
日本スキー博物館
石の湯のゲンジボタル
ABCDEFGFG
abcdefghijkl
12345678-./()

【横書に用いる横比率】

日本スキー博物館
 6～8文字横比率 95%
石の湯のゲンジボタル
 9～12文字横比率 85%
カヤの平トレッキングコース
 13文字以上横比率 75%

【縦書】
斑尾高原
日本スキー博物館
石の湯のゲンジボタル
日本スキー博物館
馬曲温泉公園望郷の湯
カヤの平トレッキングコース
 6～8文字縦比率 95%
 9～12文字縦比率 85%
 13文字以上縦比率 75%

中野市
 Nakano City
斑尾高原
 Madarao Heights

ぼんぼりの湯
 Pompoko-no-yu

3.圏域界・誘導サインの表示内容と仕様（表現素材・指定色）

- 圏域界サインは以下の原則に従い情報を表記します。
- 各情報の表現は、以下の素材の同等品・色彩を用います。

地色 焼付塗装/Y22-80H（日本塗装工業会）またはシート貼加工
 シートの場合は樹脂粘着シート/NOCS 87-18（中川ケミカル）

タイトル「ようこそ北信州」チャンネル箱文字
 焼付塗装/Y09-30P（日本塗装工業会）またはシート貼加工
 シートの場合は樹脂粘着シート/NOCS 71-10（中川ケミカル）

サブタイトル「Welcome to KITA-SHINSYU」
 樹脂粘着シート/4791ブラック（タフカル・中川ケミカル）
 塗装の場合は上記シート色に色調整を行う

統一ロゴマーク 下記、樹脂粘着シートの各色（タフカル・中川ケミカル）を用いる
 または同等色シート、塗装の場合は上記シート色に色調整を行う



- 誘導サイン（市町村・施設）は以下の原則に従い情報を表記します。
- 各情報の表現は、以下の素材の同等品・色彩を用います。

地色 樹脂粘着シート/NOCS 71-14 茶（中川ケミカル）
 塗装の場合は上記シート色に色調整を行う 類色 Y15-40H（日本塗装工業会）

帯地色 樹脂粘着シート/4126（セピア）濃茶（タフカル・中川ケミカル）
 塗装の場合は上記シート色に色調整を行う 類色 Y09-20D（日本塗装工業会）

矢印 樹脂粘着シート/4126（セピア）濃茶（タフカル・中川ケミカル）
 塗装の場合は上記シート色に色調整を行う 類色 Y09-20D（日本塗装工業会）

矢印地色 樹脂粘着シート/NOCS 87-18 薄茶（中川ケミカル）
 塗装の場合は上記シート色に色調整を行う 類色 Y22-80H（日本塗装工業会）

和文・英文（市町村名・施設名観光地資源名）
 白文字 NOCS NG-95（中川ケミカル）
 塗装の場合は上記シート色に色調整を行う 類色 YN-95（日本塗装工業会）



4.案内サインの表記ルール

<地図表記の基準 一例>

●要素	●形状	●書体	●色 C シアン	M マゼンタ	Y イエロー	K クロ
市町村名	36pt	スーラ CID-DB				K100
観光施設名	20pt	//				K100
観光地点見どころ (丸)		//	C100			
温泉施設マーク				M50	Y80	
体験スポーツ (丸)		//	C50	M100		
トレッキング (丸)		//	C100		Y100	
高原・温泉エリア名文字		//	バック (M15)	カコミケイ (K100)		
温泉名	31pt	//		M50	Y50	
標高文字	20pt	//				K100
等高線エリア (低地)			C12		Y10	
等高線エリア (高地)			C25		Y15	
山名	20pt	//				K100
標高数字	20pt	//				K100
川名	20pt	//				K100
川の色			C35			
神社マーク						K100
湖の色			C35			
インターチェンジ名	27pt	//		M100	Y100	
高速道路名	20pt	//				K100
高速道路幅	13pt		C5	M40	Y30	
国道道路名	20pt	//				K100
国道番号	数字 23pt Helvetica Condensed Regular (白)		面の色 M60Y60	囲みケイ線 1.3pt (白)		
国道道路幅	9pt		C25	M50	Y50	
JR 駅名	15pt	//				K100
長野電鉄駅名	15pt	//				K100
冬期通行止め道路	5pt		バック (カコミケイ M40Y75 地 Y25)			
現在地	64pt	新ゴ B	バック (M100Y100)			
タイトル (ようこそ北信州)	144pt	新ゴ B	M13Y25	カコミ (C50M100Y100)		
表示面ベース色 (地色)				M15	Y15	
その他 (問い合わせ等、右下の表の文字)		スーラ CID-DB	ベース(上) C5Y15	ベース(下) C12Y25		

支持体設計マニュアル

4

1. 圏界域サイン
2. 広域案内サイン
3. 市町村誘導サイン
4. 施設誘導サイン